

編集後記

知識創造の時代が来ると言われている。コンピュータと通信ネットワークが結びつくことによって情報の迅速なやりとりが可能となったからだという。コンピュータの中に蓄積されている情報・知識は、世界中のいつでもどこからでも入手することができる。だから、知識創造の時代が来るといふ。

しかし、それほど単純なものではない。ひとつの知識をさらに探求して深めれば新しい知識が生まれる。そうしたこともある。他方、いくつもの知識が会合することによって、新たな知識が生まれるともいわれる。これも事実であろう。古来、重要な発見や発明は、後者、つまりいくつもの知識が会合することによって生まれてきた。いくつもの知識が会合することを演出したのは人である。人と人との出会い、交流こそが新しい知識を生み出す場とも言える。こうした場があってこそ、コンピュータ通信ネットワークも新しい知識を生み出す道具としての威力を発揮できるのである。

総合教育センターは、さまざまな知識が会合する場ともいえる。一般教養、外国語、教育の3分野の先生方が集う場がセンター教授室である。異なる分野のさまざまな知識が先生方の交流を通して出会い、新しい知識が生み出される、そうした可能性の場といえる。センター教授室を交流の場として、優れた論文をこれからもお届けできるように努めていきたい。

(大串夏身)

編集委員 柴原草子

☆掲載論文の無断転載を禁じます。

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂一ノ七 電話 03(三四一一)五三〇〇		発行所 昭和女子大学 近代文化研究所
印刷所	三	秀舎
編集発行人	竹田	喜美子
平成十八年四月二十日	印刷	
平成十八年五月一日	発行	
学苑 七百八十七号 定価 八四〇円(本体八〇〇円) 購読料 一カ年分 一〇〇八〇円 (本体 九六〇〇円)		